

YWVOB会 会報 No.29

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

2005年7月15日発行

～ 29号の目次 ～

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ・50周年記念事業を進めましょう・・・1 | ・期別便り（15期）・・・9 |
| ・第13回OB山行の報告（鷹ノ巣山）・・・2 | ・苗名小屋の状況について・・・11 |
| ・関西支部報告・・・4 | ・雪下ろし報告・・・12 |
| ・2004年シニアOB月例山行報告・・・5 | ・たすねびと・・・13 |
| ・期別便り（5期）・・・8 | |

■ 50周年記念事業を進めましょう!

会長 嘉納秀明(1期)

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部は1957年（昭和32年）5月1日に創設されました。以来次第に部員数が増加し、数年を経ずして有数の大きな部に発展し活発な部活動を展開してきました。1968年には創立10周年記念事業として苗名小屋が完成して、現役、OBがともに活動しかつ憩い、おもいを共にする場として今日まで利用され続けています。部員数は最近少なくともはなりましたが、現役部員は精力的に部活動を行っており、ワンダーフォーゲル活動はなおも健在であります。現在のOBの数は500名を超え、かなりの数のOBは今なお山行活動を活発に行っております。

当部は2007年に50周年を迎えることとなります。この期に当たり、過去の活動の集大成を行い、つぎの50年の展望を開くために50周年事業を行うことが総会で決定されました。

事業の内容としては、記念誌の発行、式典の挙行、記念登山(国内、海外)の実行、歴史編纂のための資料収集と整理、期間限定の50周年ホームページ開設などが考えられますが、これには多くの人の協力が必要となります。このために、まず創立50周年記念事業実行委員会を構成することが必須となっております。基本的には現在の役員および各期幹事の皆さんに委員就任をお願いしたいのですが、特徴のある事業とするために広く皆様のこの事業準備への参加を呼びかけます。

皆さん是非ボランティアとして参加を申し出て下さい。また、参加を要請された際は是非ともその役を引き受けて下さい。伏してお願いする次第です。

また、記念事業の内容に具体的アイディア、提言がありましたらメールでご連絡下さい。

「皆で祝おう！ 50周年」を合い言葉に推進してゆきたいと存じます。



■ 第13回OB山行の報告 (鷹ノ巣山)

OB山行委員長 小野恵美子(34期)

〔日程〕2005年5月21日(土)

〔参加者〕嘉納[1]、吉野[2]、小林[7]、松本[7]、松本[8]、山本[10]、安藤[11]、上野[14]、小口[14]、狩野[14]、笹倉[30]、小野[34] (計12名・敬称略・[]内数字は期)

5月の爽やかな晴天のもと、奥多摩の鷹ノ巣山に登ってきました。参加者は総勢12名、13回目を迎えるOB山行の常連の皆さんです。初参加のご予定だった10期下村さんは直前に足を痛められたとのことで不参加となり、残念でした。当日はOB山行にしては珍しい晴天と展望に恵まれ、最高の山歩きを満喫しました。

朝8時30分に奥多摩駅に集合。平日の都心かと思うほど人が多くて驚きました。行楽シーズンの週末ともなるとこんなに多くの方が山登りに来るのだなあ(下見の時は閑散としていました)と嬉しくなったり、若い人が少ないなあとちょっと寂しく思ったりしました。ぎゅうぎゅう詰めが発車していく路線バスを見送って、電車でいらしたメンバーと合流した私たちはマイカーに分乗し悠々と登山口を目指しました。運転手の皆さん、いつも感謝しています!下山地である倉戸口に1台とめて、2台の車で登山口へ。峰谷登山口からさらに林道を入った奥という所に車をとめました。すでに何台もの乗用車がとまっていました。

9時20分歩き始め。最初こそ急登でしたが、すぐに緑が心地よい快適な登山道になりました。「金五十銭」などと書かれた木札が並んだ古い神社の横を通って、どんどん登っていきました。爽やかな風の中、美しい緑に囲まれて歩ける幸せを噛みしめました。杉や檜の濃い緑、ブナや榎の鮮やかな緑、カラタチのやさしい緑、そしてかわいいツツジの花が代わる代わるに楽しませてくれました。鷹ノ巣山避難小屋から山頂までは、展望を楽しみながらゆっくりと登りました。11時30分山頂(1736.6m)に到着。たくさんの登山者が展望の良い南側を向いて休憩していました。奥多摩の山々の向こうに丹沢の山も見え、右側には美しい富士山が。ここからの富士はスマートできりっと見えました。景色を堪能しながら昼食をとり、恒例の記念撮影。50分間の休憩を楽しんだ後、下山路に付きました。下山地までの標高差は約1200mもあるのですが、そうは感じさせない歩きやすい土の道でした。偽ピークが多く、どれだかわからなかった榎の木山付近で休憩。ミツバツツジがきれいでした。広場のような倉戸山山頂では再び集合写真撮影。0期代の皆さんが煙の出る写真機(?)の話をして、私は衝撃を受けました。そういえばこの山行中には1円札や100円札などという私にはわからない昔の話から、GPSなどというこれまた私にはわからない最新の話まで飛び出して、本当に賑やかでした。OB山行は楽しい話題と情報の宝庫、自然を楽しむことのほかにこれもまたOB山行の醍醐味であります。奥多摩湖の輝く湖面がだんだんと近くなり、15時に下山地の倉戸口に到着。電車組、車組とに分かれ、その場で解散となりました。混んでいたため温泉は諦めましたが、心地よい疲労が残る今回のコースで奥多摩の一日を十分に楽しみました。

登山口に向かう車の中で皆さんと話したように、山に登らない人から見たら「山に登るなんて人の気が知れない」なのでしょう。それでも登らずにいられない私たち。言葉で説明できないけれど、たくさんの山の魅力を知っているからですよ。皆さんお疲れ様でした。



鷹ノ巣山頂上



大岳山、御前山

1. 会員と会費について

99年の会則改正により関西支部会員が納入したOB会費の30%が支部に還元されることになったため今迄若干曖昧であった関西支部OB会員の構成を見直しました。

2005年5月現在の会員数は次の通りです。

- ・正会員（近畿2府4県と三重県に在住するOB会員） 28名
 - ・特別会員（元関西支部員で転居後も支部行事に参加を希望するOB会員） 4名
- 三重県を関西支部に含めたのは、1965年京阪神地区と四日市在住のOB会員が集まり、第1回の支部行事が開催されたことによるものです。

02～03年頃は支部会員のOB会費納入率が低く30%台でしたが、支部行事の頻度を上げ参加者に会費納入を呼びかけたところ、本年度は50%を超え支部財政もだいぶ豊かになりました。ご協力いただいた先輩、同期、後輩の諸氏に感謝します。

ところでここまで書いて気がついたのですが、今までのところ前納割引制度を利用して納入をしている会員についても一人につき年600円頂いておりますが、これはもらい過ぎでしょうか。後から問題になると困りますので本稿を借りてOB会の皆様におことわりしておきます。

2. 支部行事について

従来支部行事は幹事一任の不定期開催でしたが、2002年以降は全支部員対象の山行を毎年秋に企画する他、シニア対象の山行を随時実施することになっています。

2002年の支部行事はシニアOB会の月例山行も兼ねて伊吹山登山を計画しましたが、残念ながら雨で中止となったため、実質的には2003年の比良山武奈ヶ岳が新企画による第一回目の行事となりました。当初の参加者は3～5名程度でしたが、最近では家族会員やゲストを含めると10名を数えることもあり大変にぎやかになってきました。定年退職を機に関西に腰を落ち着けることにした会員も多いようです。

最近の行事をまとめると以下のとおりになります。

- 2002.09.28 伊吹山 雨天中止
- 2003.09.27 比良山武奈ヶ岳 田上、西村、渡辺
- 2003.10.26 山の辺の道 西村、宮崎裕子夫妻、渡辺、斎藤
- 2004.05.14 六甲石切道 田上、西村、渡辺
- 2004.10.23 伊吹山 田上、西村、渡辺、斎藤、三宅
- 2004.11.14 赤目四十八滝 田上、宮崎紘、西村、渡辺、斎藤、泉、三宅、向井夫妻
- 2004.12.26 飛鳥路 田上、佐藤、西村、渡辺、斎藤、泉、三宅、向井夫妻
- 2005.03.27 柳生街道 田上、西村、渡辺、斎藤、三宅、向井夫妻、ゲスト 塚原
- 2005.04.24 済浄坊溪谷 田上、西村、宮崎裕子夫妻、渡辺、斎藤、向井夫妻、三宅、
ゲスト 館市

こう並べてみるとだんだん山から里へ下りて来たようにも思えますが、年齢相応無理をせず、長続きさせることを目標に今後も計画したいと思っています。

3. 支部創立40周年について

1965年の関西支部結成以来今年で丁度40年になります。第一回の支部行事参加者も今では正確にはわかりませんし、その後の行事も良く覚えていません。せめて残された古い写でも整理しようと試みたのですが、私の手元には4行事10枚ほどの写真しか残っておりませんでした。どなたか関西支部行事に関する昔の写真をお持ちの方はおられないでしょうか。おられましたら是非ご連絡をお願いします。

これに懲りて今年からは全ての支部行事に日付入りの写真を残すことにしました。45周年記念には少しはまとまったものができるのではないかと期待しています。



柳生街道滝坂の道

■ 2004年 シニアOB月例山行報告

シニアOB月例山行委員長 塚原伸一郎 (2期)

■ シニア月例OB山行

シニアOB月例山行は1999年1月に始まりました。シニアの集いの行われる月を除いて毎月1回、年に11回開催されます。2004年12月で第66回を迎えました。丸6年続いたこととなります。このうち、雨天による中止は5回でした。

ちなみにシニアOBとは1期から8期までの138名をいい、平均年齢は推定63.5歳です。

■ 2004年の月例山行

9月の大岳山が雨天で中止になりましたが、その他は概ね好天で快適な登山が楽しめました。年間参加者は332名、月平均33.2名で前年より大きく増加しました。

月別実施状況は次のとおりです。

[1月31日] …秩父・宝登山 40名、快晴

今月も40名の参加。風が強かったのですが暖かく、ロウバイ観梅には快適な1日でした。

[2月28日] …房総・鋸山 28名、晴

石切り場、地獄覗き、千五百羅漢の名所を巡り、紅梅、白梅満開の大仏広場で昼食。帰路、保田のフラワーロードは菜の花が真っ盛りでした。

[3月27日] …生藤山 26名、快晴

雲ひとつない快晴で、大展望を楽しみました。真っ白な南アルプス以下大菩薩、奥秩父、奥多摩、陣馬・高尾、丹沢、富士箱根…数え切れない多くの山々でした。桜はまだで、尾根には雪が残っていて快適な雪道ハイクでした。

[4月17日] …秩父・岩根山 31名、晴

ミツバツツジを見に行きました。1週間遅かったとのことですがミツバツツジもヤマツツジもまだたくさん咲いていました。

[5月22日] …箱根・丸岳 33名、くもり

昨年7月雨で撤退したりベンジですが、今回も天候に恵まれず、寒い上にガス、小雨で展望はなし。花もキンボウゲが少しだけでした。

[6月26日] …日光・霧降高原 35名、雨のちくもり

出発時に雨になり、キスゲ平まで降られました。赤薙山を変更して丸山に向かいました。ニッコウキスゲは満開で大勢の人出で賑わっていました。

[7月28日] …金峰山 37名、晴

夏休みなので平日登山です。大弛峠まで一気にマイカーで登り、そこから奥秩父の盟主金峰山へ。さすがに高山、涼しくて快適でしたが、急に高いところに登ったために高山病にかかった人が3~4名いました。

[8月27~28日] …磐梯山 45名、くもりときどき晴、OB山行との合同山行

シニア月例山行とOB山行の合同行事です。貸切バスを利用し、夜行日帰りで磐梯山を目指しました。生憎頂上はガスで展望は得られませんでした。沼の平からは荒々しい山肌を眺め、夏から秋の花々を愛で、温泉で汗を流して百名山を楽しみました。

[9月25日] …大岳山

雨天のため中止。通算64回のうち、中止は5回となりました。

[11月27日] …妙義中間道 25名、快晴

貸切バスで妙義神社へ。快晴で暖かく、紅葉もかなり残っていて最高の落葉ハイクでした。落ち葉を踏んで歩いたあとは、名物石門の鎖場で晩秋の妙義を楽しみました。

[12月18日] …奥武蔵・大霧山 32名、快晴

今年の忘年登山も快晴です。風は冷たいのですが、秩父の山々から浅間山、榛名、赤城の山々がよく見えました。下山後、小川町駅前で行った今年の各賞の表彰式を行いました。今月は通算66回にて、延べ参加者は1,868名、通算平均参加者は30.6名です。



04.12.18 第66回大霧山

■2004年実施状況

[月別実施状況]

月	コース	天候	幹事	参加者	備考
1月	宝登山	○	1嘉納	40	貸切バス、第11回OB山行と合同
2月	鋸山	○	2塚原	28	
3月	生藤山	◎	3腰塚	26	
4月	岩根山	○	4谷上	31	
5月	丸岳	△	5亀井	33	
6月	霧降高原	×～△	6岡田	35	
7月	金峰山	○	7小林	37	
8月	磐梯山	△	8田中	45	
9月	大岳山		1嘉納	中止	
11月	妙義山	◎	2塚原	25	
12月	大霧山	◎	3腰塚	32	
				332	

[2004年皆勤賞]

期	氏名	摘要
2期	吉野大次郎	5回目
3期	腰塚 典明	6回目
3期	白井 信行	2回目
3期	塩谷佐紀子	3回目
4期	大黒美代子	初回
7期	八島 明	初回
7期	林 誠一	2回目
7期	古宮智津子	3回目

[30回参加賞]

期	氏名	通算回数
4期	原 隆子	30
6期	松本 君子	35
7期	八島 明	35
7期	林 誠一	39
7期	久保木克子	33

[50回参加賞]

期	氏名	通算回数
2期	吉野大次郎	60

■年度別実施状況

[企画賞]

年	月	コース	幹事
00年	12月	石割山	7期小林
01年	6月	尾瀬ヶ原	4期斎藤
01年	11月	大菩薩嶺	2期塚原
02年	5月	甘利山	7期小林
03年	5月	榛名山	2期塚原
04年	03.12月	仏果山	8期田中
04年	1月	宝登山	1期嘉納

[参加者数]

年	実施回数	参加者	1回当たり
99年	10	238	23.8
00年	11	304	27.6
01年	10	317	31.7
02年	9	340	37.8
03年	11	337	30.6
04年	10	332	33.2
計	61	1,868	30.6

[参加者数ベストテン]

順位	コース	年月	幹事	参加者	摘要
1	鎌倉・源氏山公園	02年1月	3期江崎	47	OB山行と合同
2	磐梯山	04年8月	8期田中	45	
3	大菩薩嶺	01年11月	2期塚原	43	
3	日光・白根山	02年6月	8期池原	43	
5	パノラマ台	02年3月	5期亀井	42	
5	甘利山・千頭星山	02年5月	7期小林	42	
7	仏果山	03年12月	8期田中	40	
7	宝登山	04年1月	1期嘉納	40	
9	石割山	00年12月	7期小林	39	
10	尾瀬ヶ原	01年6月	4期斎藤	38	
10	吾妻山	02年4月	6期岡田	38	

■ 期別便り（5期）

同期会（御在所岳登山）

5期 亀井良英

夕闇のせまる6時半近く、やっとプラージュ鈴鹿の看板が見え、なんと向井さんが出迎えてくれていた。感激、感激。

浜名湖SAで昼食を摂るといふ諸角夫妻に偶然会って、伊良子岬を廻って行くからと別れたが関西の地理に疎く鳥羽から鈴鹿まで時間が掛かりすぎたため集合に30分の遅刻（折角だからと伊勢神宮の外宮に寄ったのも悪かった）夕食を待たせた面々にお詫びをして豪華な宴の始まりとなった。

同期会は5回目に関西方面では初めてだが七組（向井、三宅、諸角、中村、金子、矢島、亀井）の夫婦が集まった。これも幹事の向井夫妻の懇切丁寧な案内と宿の手配のお陰。

伊勢海老、鮑付の刺身盛り合わせ、松坂肉のしゃぶしゃぶ、これでは酒がすすまぬはずが無く、イセエビの出汁の効いたおじやを挿んで二次会となり12時過ぎまで飲んでいる始末。

明日の御在所岳の登山はどうなるのか、900m近い標高差を本当に登れるのかと心配しつつ、ロープウェイでも良いかと眠りに付く。

翌日、ロープウェイの駐車場で14名中11名が登る事と成りこれまたびっくり。

誠に元気と云うか酒に強いと云うか見上げる山は半端じゃない急勾配の岩山、ままよとゆっくりと歩き出す。蒼滝を見に行くロープウェイ組みと別れて11名順調に藤内小屋で小休止。此处で初めてシロヤシオにお目に掛かる。

はじめは何だか判らなかつた位、花の小さなシロヤシオで丹沢の半分くらいの大きさ。肥料分の少ない花崗岩地帯なので植物全体が小さいのだと諸角夫人より教えを受ける。なるほど稚児ゆりも岩鏡もずいぶんと小さいのに感心した。

小屋を過ぎると勾配もきつくなり、遭難者の慰霊碑の脇を通り藤内壁の直下で昼食。藤内壁は関西では知られた岩場のゲレンデだそうで慰霊碑は岩登りの遭難者の慰霊のためのようです。はるか上をガスの晴れ間から岩登りをしている人が垣間見えまだ稜線は遥か彼方です。

此处からは本当に一步一步、急な沢をつめていく路で先ほどのシロヤシオと石楠花に本当に助けられました。しかも上に行くほど咲いているのだから励みになります。稜線の国見峠からはシロヤシオのトンネルでした。

何はともあれ11名、無事、元気に9合目に到着、ロープウェイ組とも再開し、御在所岳の頂上一等三角点を目指しました。

と言っても、9合目からは山上公園で今までの山道とは打って変わって舗装道路と立派な階段です。

残念ながら、曇っておりガスも出て展望にはまったく恵まれませんでした。豪華に飾られた一等三角点を背景に14名の記念撮影を行いました。

帰りはさすがに歩いて下山する者は無く、ロープウェイが雲の下に出ると奇岩や厳しい山容に、我ながら半分二日酔いで良く登ったものだと感心しました。

同期会も5回目ですが、11名もが本格的な登山をしたのは初めてでした。

皆さんまだまだお元気で、特に佐世保から遠路参加の矢島さんは家庭菜園で鍛えた身体で終始先頭を歩かれた姿は若きころの葉山の拓ちゃんそのものでした。

大変楽しい御在所登山でしたが結構しんどい物もありました。

この夜は、臨時参加の斉藤貞夫さんを囲んでの夕餉でした。

来年はどこになることやら、幹事さん宜しくお願いします。

期別報告の依頼を受け、15期各位に下記の様なメールを打ったのですが、すぐに返事が来たのは、萩生田だけ。10日程して牛窪から、1ヶ月程して小泉から返事がきました。他の同期は、生きているとは思いますが、忙しいのでしょう。

直近の同期会は2001年の8月26日、それ以降は開いていません。ただ去年小泉と谷島には会いました。それもお通夜の席で。

それで、萩生田、牛窪、小泉の近況報告の後に、私、中島が、他の同期の報告を、極々簡単ですが、することにします。

ワングル 15期 各位

OB会編集委員長の田村氏より15期の期別便りの原稿依頼がありました。つきましては、仕事に生きがいを持って頑張っているあなた、人生に疲れてしまったあなた、のんびり余生を考えているあなた、いろいろお忙しいとは思いますが、皆様の近況をメールにて知らせてください。できれば、今週中をお願いします。

岩船君と青木さんの近況がわかる人は、一緒に、お知らせください。噂によると、15期の同期会の数が最も少ないと言う事らしいので、この機会に、同期会を開きませんか。

何はともあれ、生きているのなら、返事をください。

中島一夫

近況報告—1 < 萩生田 弘 >

ご無沙汰しています。

今、公共事業の縮減で売上が激減して、2年続きの赤字。3年続けば事業部解体といった状況下で、今第3弾のリストラ中で少々、元気でない状況です。

また、今話題の談合騒ぎが加わり、ノックダウン寸前の事態になっています。昨年は、牛窪、植松、本多家と妙高高原に行き、山小屋に寄りました。この際、小口氏に会いました。写真のお礼まででした。ありがとうございます。

我々の知っているOBが60才前後になり、段々元気になって行くのを見て、非常に羨しい気がします。我々の世代は、今が一番苦しい状況にあります。

加えて、若いときお遊び過ぎたこともあり、子供もこれから、教育にお金が掛かる状況でプレッシャーの毎日です。今は、週休一日あれば良い状況で、段々と家族から疎外された感もあります。

会社のみならず、社会全体も寛容を欠いた、ギスギスした世の中になってしまい、息苦しい状態です。後2年で私も55才になり、何時ギヤチェンジをするか、考えることが多くなったこの頃です。

近況報告—2 < 牛窪 肖 >

お久しぶり、牛窪です。

八王子在住はや20数年。今時分は鶯が鳴き、近所で天然の蛍を見ることが出来ます。

仕事は、20年位勤めた会社を8年前にやめてから転職2回。今の会社で、卒業以来4社目(今の

会社も、はや5年になります。)今のところ、月に1~2回台湾に出張。都心へ通勤片道2時間。女房子供に悩み多し、まだまだ手がかかりそうで、先行きは見通し暗いなあと、ため息が出ます。

さてそうは言っても相変わらず、「そこそこ趣味の人」を目指せ!というわけで、今やっていることは、ボルダリング:週1回ジム通い(国分寺 B-PUMP)。週末はできれば御岳でボルダリング。ロープを使ったクライミングは、この2年位やっていません。

自転車:サイクリング派。週末2~3時間乗る。休みに近所へ行くのは概ね自転車。

SOCIO:子供と見に行ってからサッカーを見るのにはまり、FC東京のSOCIOになって年に20回ほどスタジアムが良い。FC東京、今年は調子悪い。

俳句:俳句を少しやっているのですが、結社に入ったりしていない自己流です。(本当は、連句をやりたいのですが…誰かやりませんか?)

体重計:女房が体脂肪が量れる(?)体重計を買ったので、つつい朝晩のってしまう。

平均体重54Kg、体脂肪10%(!!!)って自慢げに言うな!

たまには、これらを1日で全部やったりします。何しろ時間がほしい。

今度、同期会をやりましょう。ちなみに、岩船には、3年位前に2度ほどジャカルタで会って以来会っていません。メールアドレスは、同じかな?今度メールしてみます。

ちなみに2、橋の件、萩生田君は大丈夫なのだろうか?

近況報告—3 < 小泉 啓治 >

小泉です。とりあえず生きております。原稿の件今しばらく猶予を。

近況報告—4 < その他の同期の近況(想像含む) >

西浦 章予(旧姓 谷島)

横浜市の小学校の先生。小泉と以前同じ学校で、上司と部下の関係だったらしいが、態度の方は逆だったとか。

岩船 芳人

インドネシアのジャカルタでシリコンウェハーを造る工場の運営に携わっているはず。5年前までは。(牛窪が5年前、現地で会っている。)スマトラ沖地震で生死は不明。

中村 真知子(旧姓 青木)

専業主婦。確か3人の子持ちだったと思うが、もう手が掛からなくなっている頃。そろそろOB山行に参加できるのでは。

近況報告—5 < 中島 一夫 >

今や、シニアOB山行の常連。1年前に転職し、スローライフを実践中。先日も、学習院で「美術館の楽しみ方」という講演を、皇太子殿下同席で聞くことができた。

■ 苗名小屋の状況について

小屋委員 DIY 幹事 池原盛彦 (8期)

同 笹倉 実 (30期)

小屋のDIYをここ数年続けてきました。ここでDIY幹事の考えているDIY目標と今後の整備方針を紹介します。なお、整備方針についてはその時点での手順や状況に応じて必ずしもこの通り進むということではないのでそのつもりでみて頂きたいです。

あくまで幹事が考えているDIYであり皆さんからの問題提起を歓迎することはいうまでもないことです。よろしくご意見をお願いします。

1. DIY全般の目的と基本方策：

- (1) 小屋の物理的強度の向上：斜め柱をはじめとする基礎部材の補強等を行い、耐震性や耐雪性を高め、小屋の保全を図る。
- (2) 保守低減化：(1)の耐雪性向上、雪囲い等の整備により雪下ろし回数の減少及び作業の低減を目指す。
- (3) 快適化：一般利用にも耐えうるレベルに向上させ、小屋の利用価値を高める。

2. 本年度の整備修繕費予算と執行状況：

本年度の委員会予算計画には整備修繕費が19万円が計上されている。3月末現在での既執行予算はR2004約3万円)及び2F床拡張などの未精算金(笹倉立替約3万円)があり、差引き13万程度が残額となる。

3. 整備方針：

予算の許す限り以下の順位で実施したい。なお、本年度実施出来なかった分については次年度以降に順次実施する。ただし道路については金の掛からない範囲で順次手をつける。

*DIY工事一覧

①二階床拡張 一坪	約1万円	*200411 実施済み
②トイレ窓の雪板作り(取外し可能型)	約5千円	
③小屋四隅控柱(大柱)の雪囲い	約4万円	
④小屋取り付け道路崩壊対策	約5~20万円	
⑤小屋周囲排水地盤改良	0円	
⑥二階蒲団置き場(現在の蒲団が全て納まる押入れ)	約1万円	
⑦トイレルトの建設と手洗い洗面所の建設	約2万円~3万円	
⑧物置のトイレとの分離および棚の作成	約1万円	
⑨トイレルトと絡みかすがい1本設置	約5千円	
⑩玄関横の羽目板内にかすがい3本設置	約1万5千円	
⑪庭側の雪囲いの雁木化	約2万円	
⑫台所明り取りおよび流しガス代の改良整備	約3万円~5万円	
⑬⑫とあわせて斜め壁の垂直化と棚化	約5万円	
⑭一階床全前面張り換え	約6万円	
⑮及び、防蟻、防腐処理	約2万円	

*将来DIY検討課題

基礎コンクリの補強(凍害による破壊・転倒防止)

*その他

有志による太陽電池電灯システム実験については、冬季試験運用を終了し一部システム改良の上、ほぼ所定の性能が得られることが確認できました。有志一同より現物寄付として小屋の設備にする予定です。なお、今後生じる維持経費については、小屋会計により負担します。

■ 雪下ろし報告

小屋副委員長 石川 真 (41期)

もうすでに夏の暑さを感じる時期に雪下ろし報告をするのもいかなものかと思いますが、昨シーズンの雪下ろし報告をさせていただきます。

その前に昨シーズンも多くの方々の協力をえまして、雪から小屋を守ることができました。皆様に感謝申し上げます。

【雪下ろし概況】

第一回・・・1/22~23 OB 隊 6名

遊撃隊(2月度)・・・2/5~6 OB 隊 7名

第二回・・・2/26~28 現役隊 4名、OB 隊 3名

第三回・・・3/12~13 OB 隊 2名、部外 6名

この記事を書くにあたり、以前のメールをもう一度読み返してみました。参加にあたって皆さんの議論が熱く交わされていると感じました。今の状況は『喉もと過ぎれば熱さを忘れる』なのでしょうか…。皆さん小屋に対する考え方を少し変えてみませんか？どなたにも敷居がなく開放されている小屋のはずです。まずは利用する所からはじめてみませんか？そうすれば議論は活発になると思います。

Key Word 苗名小屋、除雪、交流、達成感、義務感、ダイエット



いつも名簿作成にご協力いただき、ありがとうございます。おかげさまで現在名簿には571名の会員が載っておりますが、残念ながら下記43名の方の現住所等が不明となっており、会報等をお送りすることができずにおります。下記の方々の現住所等をご存知の方がいらっしゃいましたら、名簿係までご一報いただけますよう、お願いいたします。なお勝手ながら、お知らせいただく情報は、過去1年以内に年賀状等で確認が取れているものとして下さい。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

<連絡先>

〒799-2431 愛媛県松山市北条 317-1-201

e-mail tac_tacsen@yahoo.co.jp

名簿係 渡邊 隆史 (36期)

たずねびと (敬称略)

1期 小野三郎	19期 久保守	23期 荒井吉則	24期 広瀬芳秋
5期 高垣(深尾)昌夫	19期 白川正	23期 大津山誠	25期 阿美雅之
7期 北見澄代	20期 青山功	23期 高岡智彦	26期 川邊茂寿
9期 寺本則登	20期 石垣秀敏	23期 中戸康文	26期 坂田将美
10期 佐藤一祥	20期 林(田中)栄美子	23期 根岸正彦	26期 関根弘之
10期 武重孝雄	21期 岩崎泰夫	23期 森嶋唐	26期 藤原芳樹
12期 武者(桐生)真紀子	21期 中川(椋代)節子	23期 湯浅祐光	28期 木綱祐貴
13期 赤松明	21期 山本規雄	23期 神谷康弘	28期 山本先隆
16期 本多賢	22期 西田博司	24期 早川恭二	36期 はが巖
16期 清水(山崎)恵子	22期 松田裕	24期 木宮聖至	38期 岡安貴裕
19期 大橋(横溝)玲子	22期 西田(佐藤)晶子	24期 上野隆行	

YWVOB 会会報第 29 号

発行: 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

発行日: 2005年7月15日

発行責任者: 嘉納 秀明(1)

編集: 編集委員長 田村 颯洋(34)、編集委員 下村 蓉子(10)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。